

# トイレの表示が変わるよ！

使い方を  
考えよう！

必要な人が必要な時に使えるトイレへ。



あれ？トイレの表示が変わった気がする！  
なんでだろう？

よく気づきましたね！  
「だれでもトイレ」「多目的トイレ」「どなたでもご自由に」  
などという表現がなくなったんです！



名前はどするの？誰が使っているの？

特別な名前はないんですよ。  
トイレの前にピクトグラムがあるでしょう。  
今後は、トイレの中の設備をピクトグラムで適切に表示し、  
その設備が必要な方が優先的に使えるようにすることになった  
んですよ。



その設備を使いたい人が必要な時に使えるように、  
使い方は気を付けないといけないってことだね！

これまで



今後



ピクトグラムの一例



車いすでも使える



オストメイト  
設備



ベビーベッド



ベビーチェア

様々な設備を1つのトイレにまとめ、だれもが円滑に利用できる便房を「だれでもトイレ」と規定し推進してきました。しかし、不適正利用が発生する等、真に利用が必要な方が使えないという問題が出てきたため、今後は、「だれでもが利用できる旨を表示」するのではなく、どの様な設備があるのか、どの様な人が使えるトイレなのかが分かるように表示することになりました。トイレの名称が必要な場合は、「バリアフリートイレ」ということができます。

【問合せ先】 練馬区建築・開発担当部建築課福祉のまちづくり係  
連絡先：03-5984-1649